

事業所名

総合発達支援デイサービスきぼう

支援プログラム

作成日

R6

年

8月

23日

法人（事業所）理念		地域に根差した医療・福祉、地域に必要とされる医療・福祉										
支援方針		「ご家族、地域の方々と共に、自分らしさを表現できる環境を作り、楽しみながら、社会性を養い、社会に参加する力を育んでいく」										
営業時間		10 9	時	0 0	分から	19 18	時	0 0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康な体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する。その際、意思表示が困難である子どもの障害特性・発達過程に配慮し、小さなサインに気付けるよう観察を行う。 睡眠、食事、排泄等の基本的なリズムを身に付けられるよう、定時誘導や時間配分などの管理を行う。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 自力での身体移動や歩行、車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上の為の支援を行う。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、ハンモック・バランスボール・トランポリン等を用いた感覚統合療法を行う。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう絵カードやハンドサイン等を用いた支援を行い、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 指差し、身振り、サイン、代弁等を用いて、環境の理解と意思の伝達出来るよう支援を行う。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動時などの遊び等を通じて、人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入する連合遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 面談や電話連絡、送迎時などに情報共有を行う。 必要時延長支援を行う。 年に二回、個別面談・保護者会を開催する。（面談は必要に応じて適宜行う） 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行う 児童館等へ外出活動を行い、同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくりを支援する。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 児童館等へ外出活動を行い、同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくりを支援する。 こどもに支援を行う療育センター等と、生活支援や発達支援における連携を行う 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応の訓練を年二回程度実施する 半年サイクルで個人目標を立て、二カ月に一度、振り返りを行う。 				
主な行事等		保護者会、夏祭り、運動会、昼食・おやつ作り、買い物支援、公共交通機関を使用した外出、施設見学										